



▶ MAKING THE WORLD  
A BETTER PLACE

# 決算説明資料

Financial results briefing materials

2024年3月期 第2四半期

インヴァスト株式会社

# 連結業績サマリー | 第2四半期 | 2023.4 – 2023.9 (累計)

## 国内金融事業

- ・主力サービスである「トライオート」と「マイメイト」の機能を継続的に改善し、取引の活性化を促進。
- ・販売費・一般販管費においては、広告宣伝費を中心に費用対効果に注力し、コストの最適化を推進。  
しかし、為替のボラティリティが減少したことを背景に取引高が減少し「減収減益」となった。


## 海外金融事業

- ・ロンドンでの現地法人の設立やキプロス子会社の増資などを通じて、競争力のある主要都市での事業規模の拡大を推進。
- ・ブランドと法人名を「26 Degrees Global Markets」に一新し、法人向けのホールセールビジネスに焦点を当て営業活動を強化。  
その結果、純営業収益・営業利益ともに大幅に上昇し「増収増益」となった。

## ファンドの運用

- ・第2四半期の組合投資損益は△20百万円となり、第2四半期累計の組合投資損益は17百万となった。

※2023年3月に開示した「当社と連結子会社との会社分割（簡易吸収分割）」により、2024年3月期からファンドの運用損益（組合投資損益）を「純営業収益」に計上しています。



第2四半期  
業績サマリー  
[2023.4-2023.9]

## 連結業績 | 第2四半期 | 2023.4 – 2023.9 (累計)

単位：百万円	2023年3月期 2Q (2022.4-2022.9)	2024年3月期 2Q (2023.4-2023.9)	対前年同期比 増減率
営業収益	2,825	3,258	+15.3%
純営業収益 ※	2,566	2,878	+12.1%
営業利益 ※	86	179	+107.1%
経常利益	61	190	+208.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13	113	+745.5%

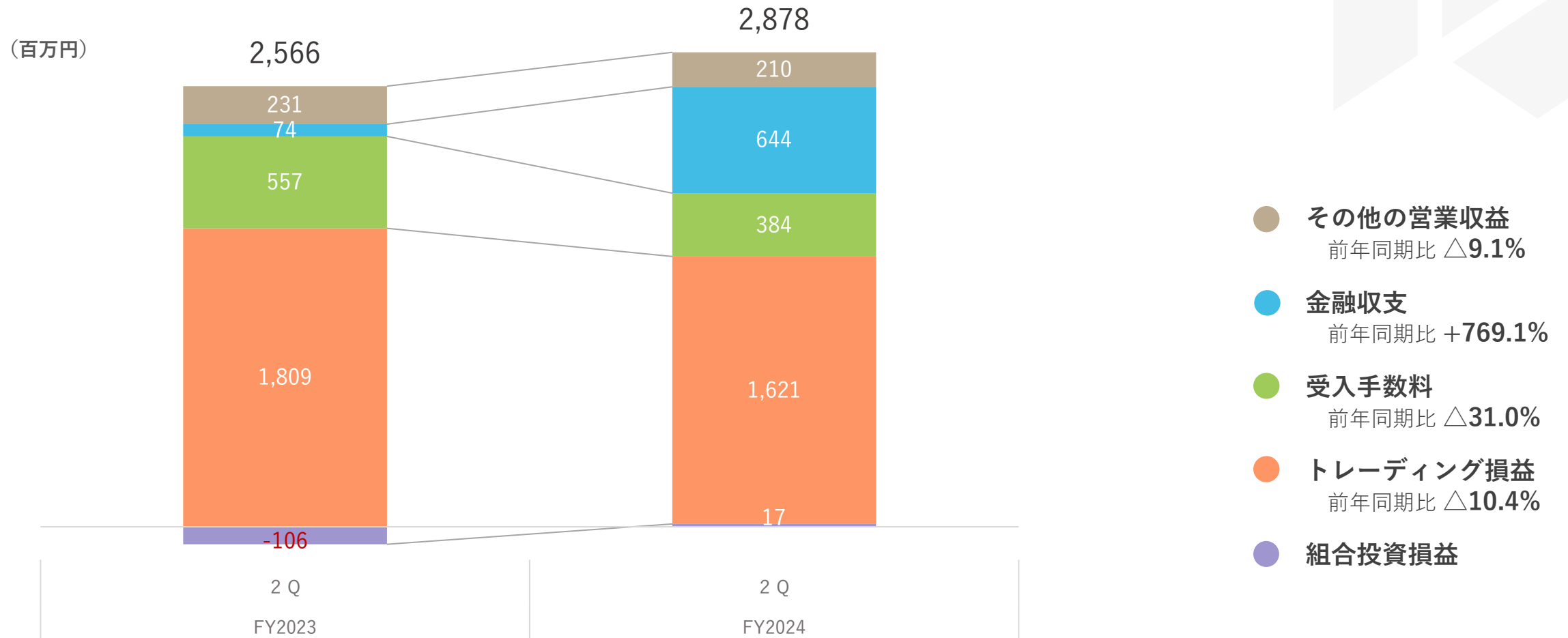
※表示方法の変更に伴い、前第2四半期にて「営業外費用」で計上していた組合投資損失を、営業収益から差し引く費用としての「投資組合損失」に組み替えたため、前第2四半期の「純営業収益」および「営業利益」は過去の開示資料と数値が異なります。

## セグメント別業績 | 第2四半期 | 2023.4 – 2023.9 (累計)

単位：百万円	2023年3月期 2Q (2022.4-2022.9)	2024年3月期 2Q (2023.4-2023.9)	対前年同期比 増減率
国内金融事業			
純営業収益 ※	1,483	1,329	△10.4%
営業利益 ※	△21	△17	-
海外金融事業			
純営業収益	1,183	1,653	+39.7%
営業利益	187	288	+53.8%

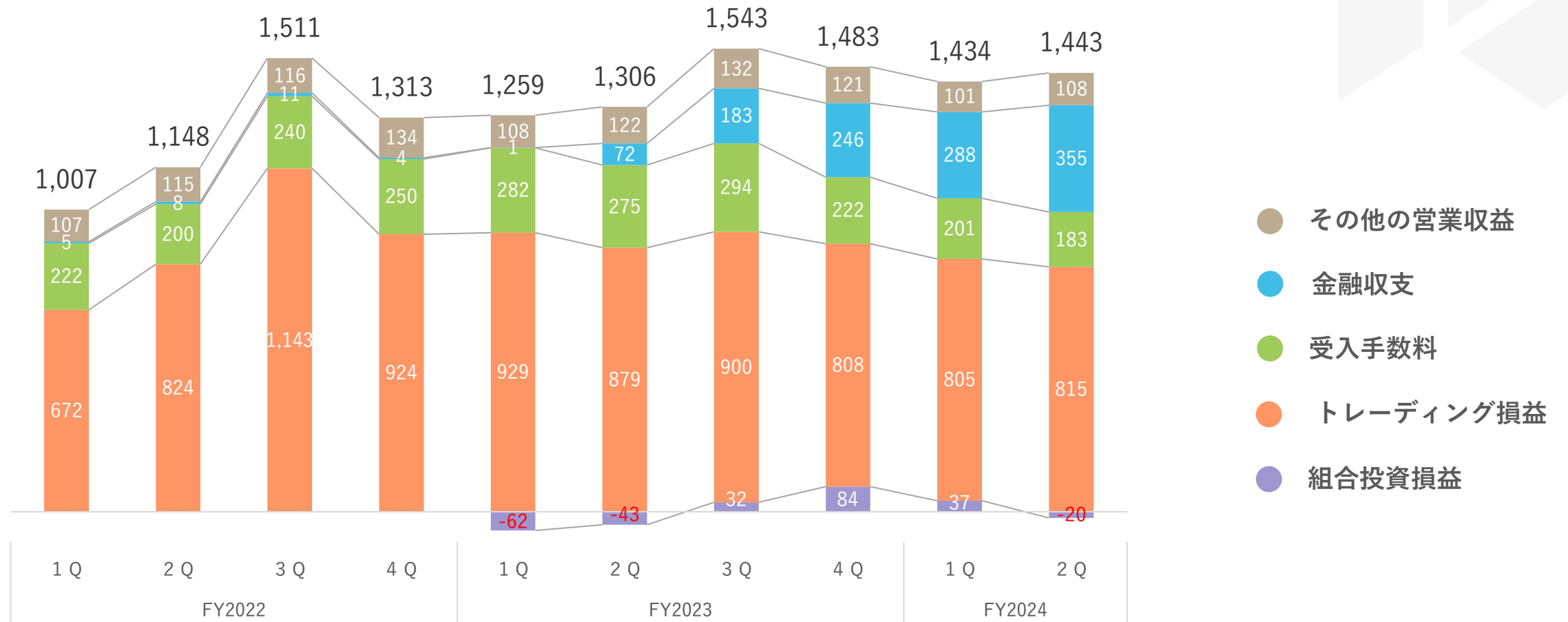
※表示方法の変更に伴い、前第2四半期にて「営業外費用」で計上していた組合投資損失を、営業収益から差し引く費用としての「組合投資損失」に組み替えたため、前第2四半期の「純営業収益」および「営業利益」は過去の開示資料と数値が異なります。

# 純営業収益の内訳 | 第2四半期 | 2023.4 – 2023.9 (累計)



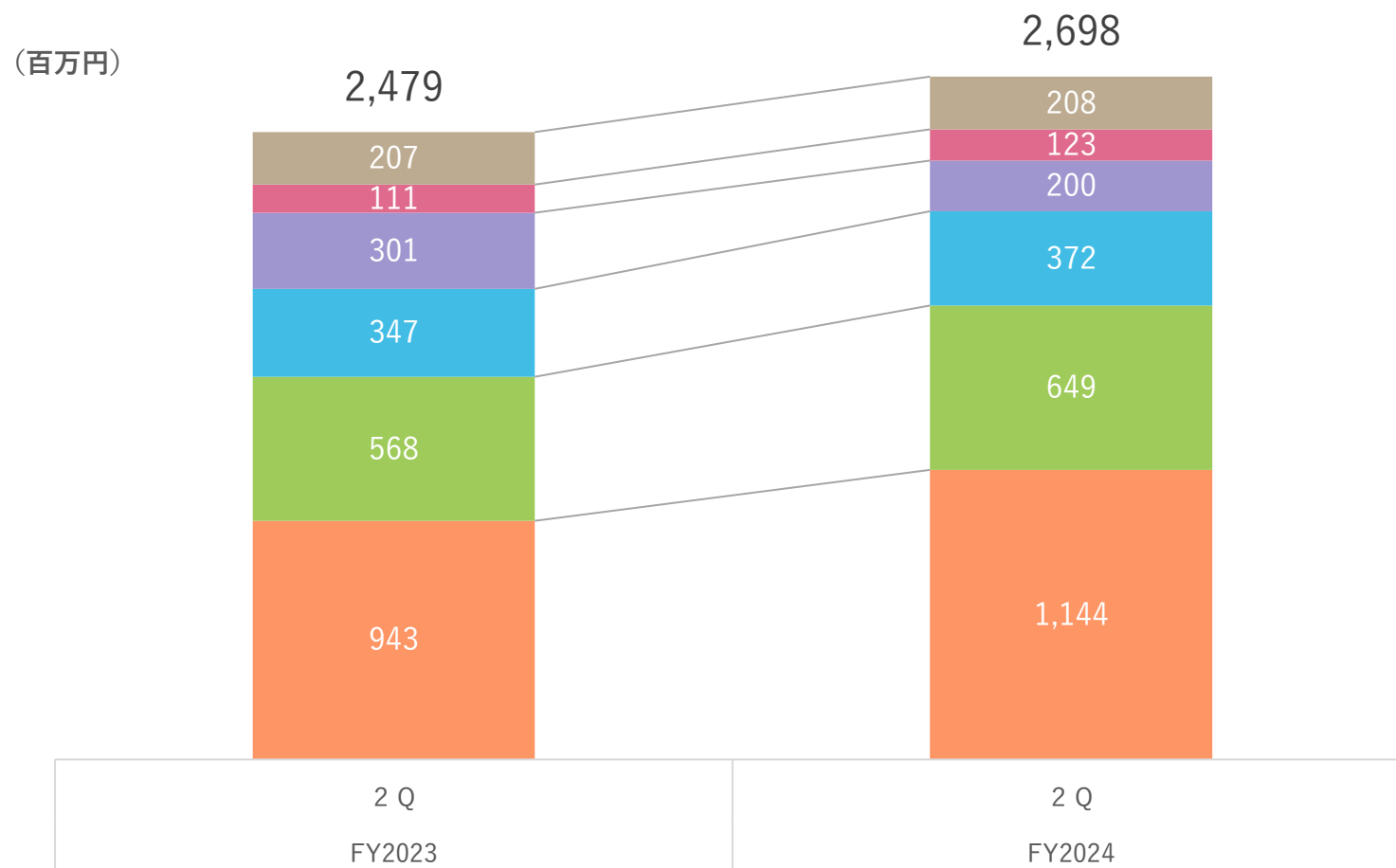
# 純営業収益 四半期毎の推移

(百万円)



※2022年3月期(FY2022)は表示の変更に伴う「組合投資損益の組み替え」は行っておりません。

# 販売費・一般管理費の内訳 | 第2四半期 | 2023.4 – 2023.9 (累計)

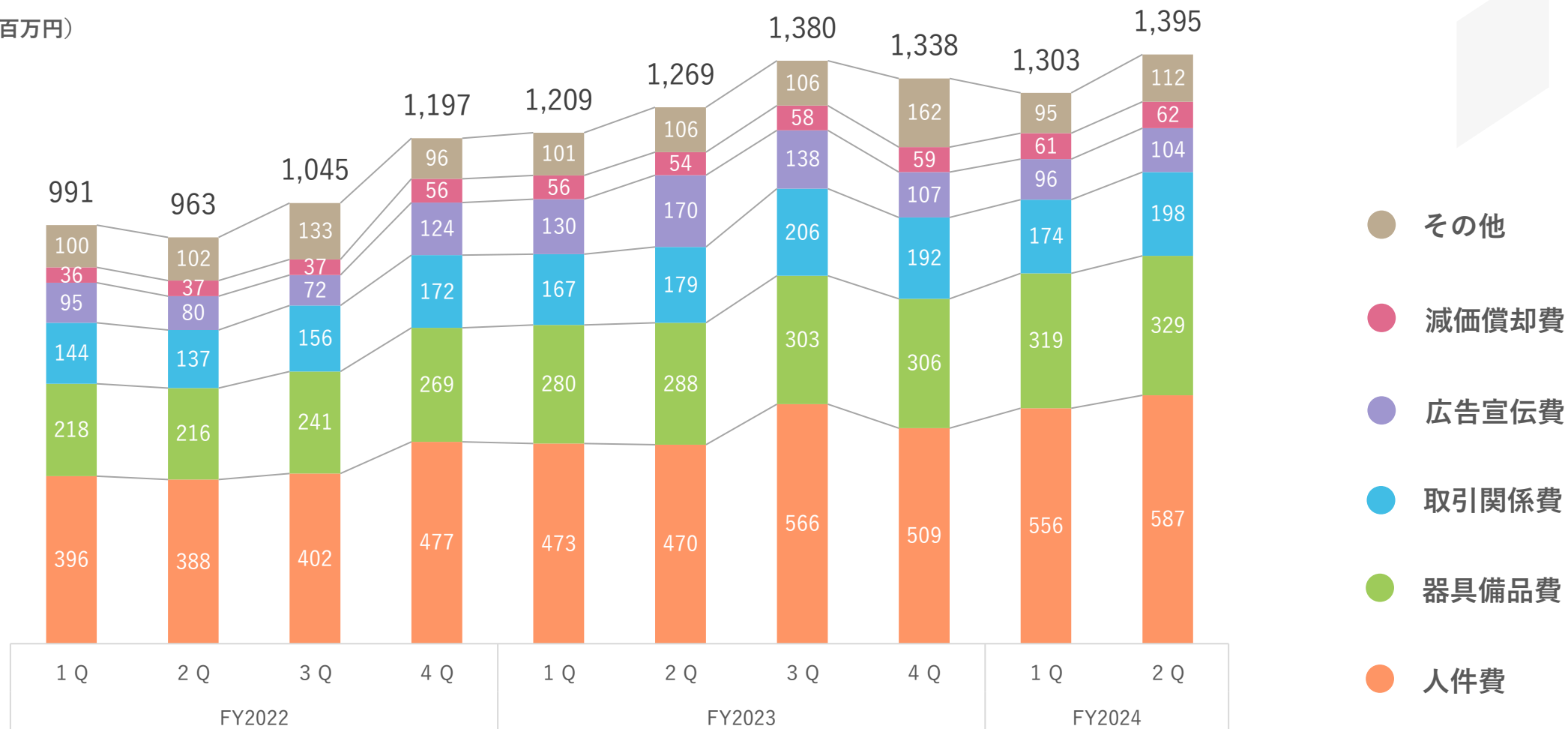


- **その他**  
前年同期比 +0.3%
- **減価償却費**  
前年同期比 +11.3%
- **広告宣伝費**  
前年同期比 △33.4%
- **取引関係費**  
前年同期比 + 7.4%
- **器具備品費**  
前年同期比 +14.1%
- **人件費**  
前年同期比 +21.3%

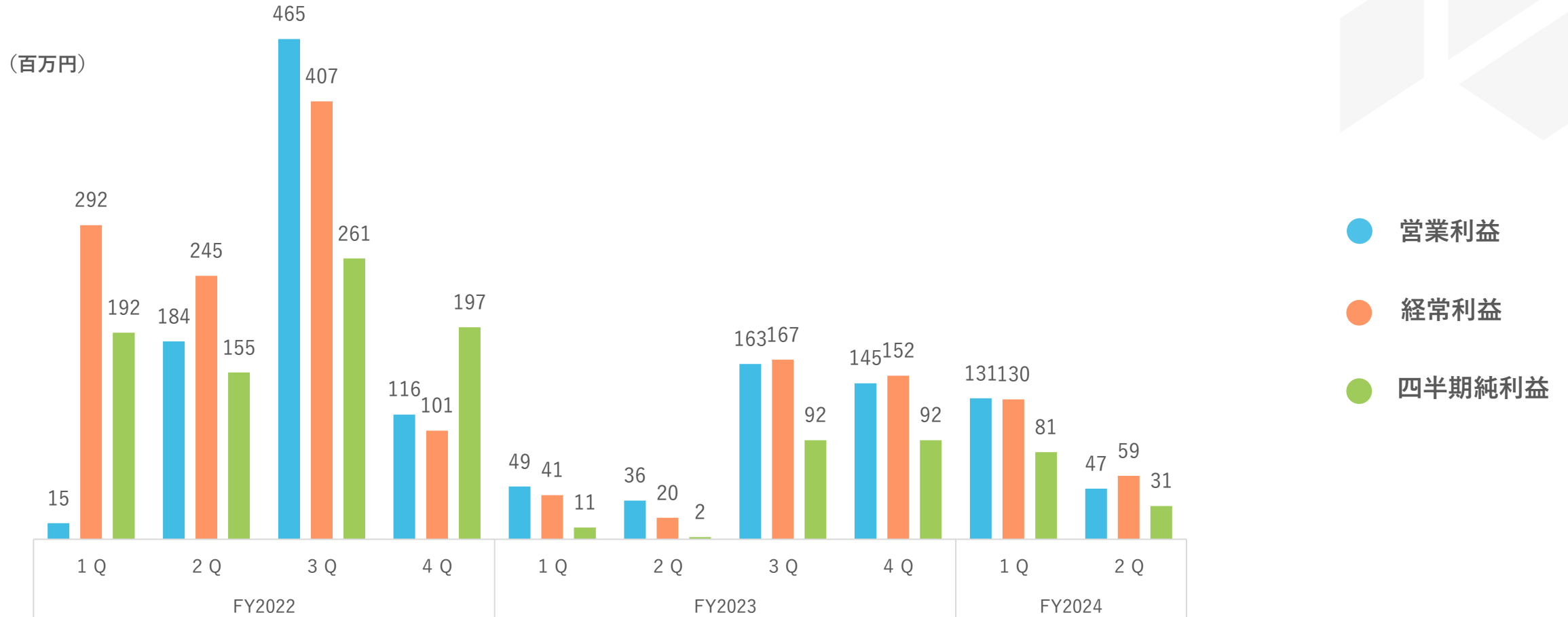


# 販売費・一般管理費 四半期毎の推移

(百万円)



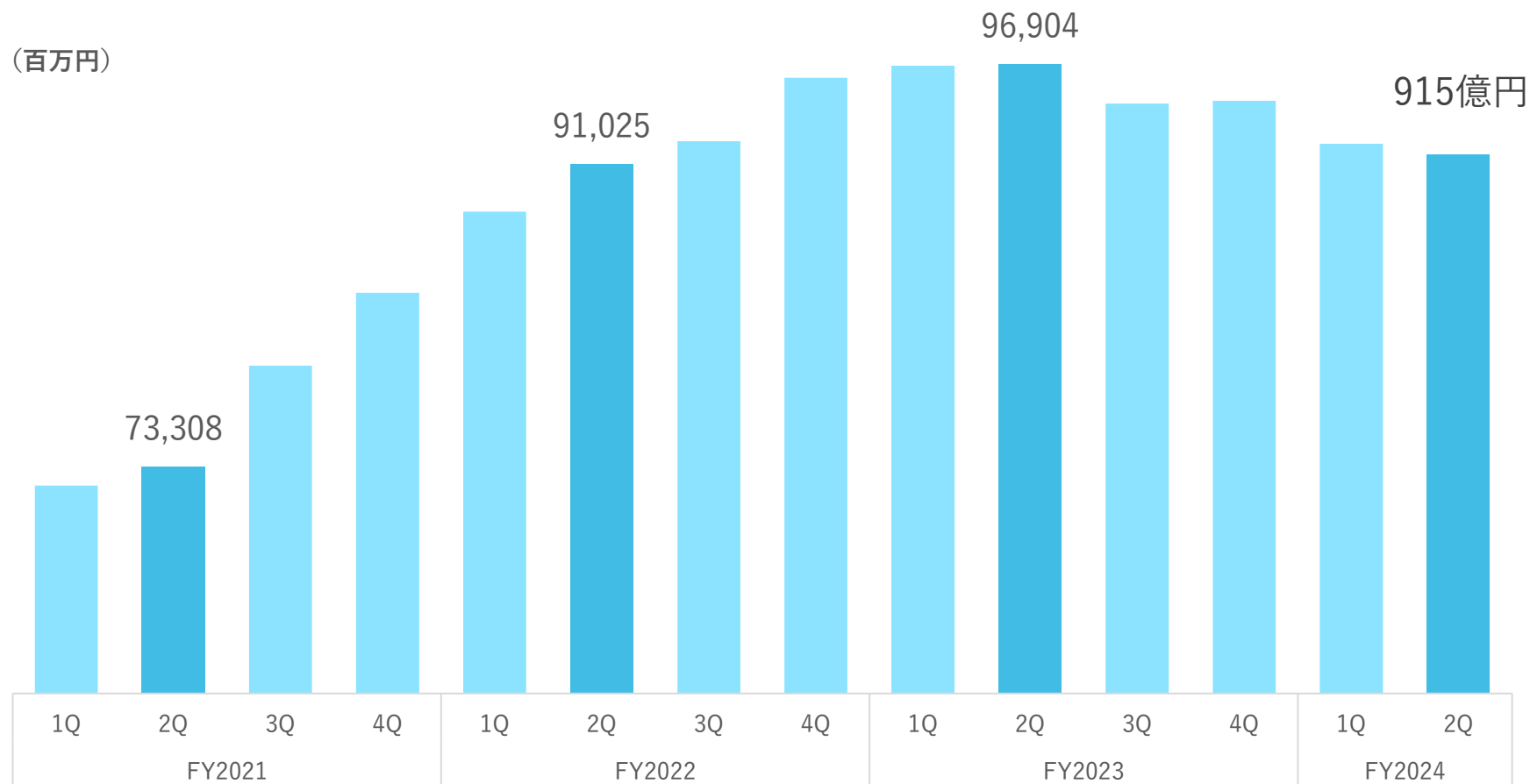
# 営業利益・経常利益・四半期純利益 四半期毎の推移



※2022年3月期(FY2022)は表示の変更に伴う「組合投資損益の組み替え」は行っておりません。


## 預り証拠金残高 四半期毎の推移

第2四半期の預り証拠金残高は前年同期比  $\Delta$ 53億19百万円の915億85百万円となりました。



※連結子会社IFSの決算日が12月31日のためIFSの数値は3ヶ月前の値で試算

取引量は相場のボラティリティにより変動するため、「収益の源泉」であり「お客様からの信頼の証」となる**預り証拠金残高**は重要な指標となります。

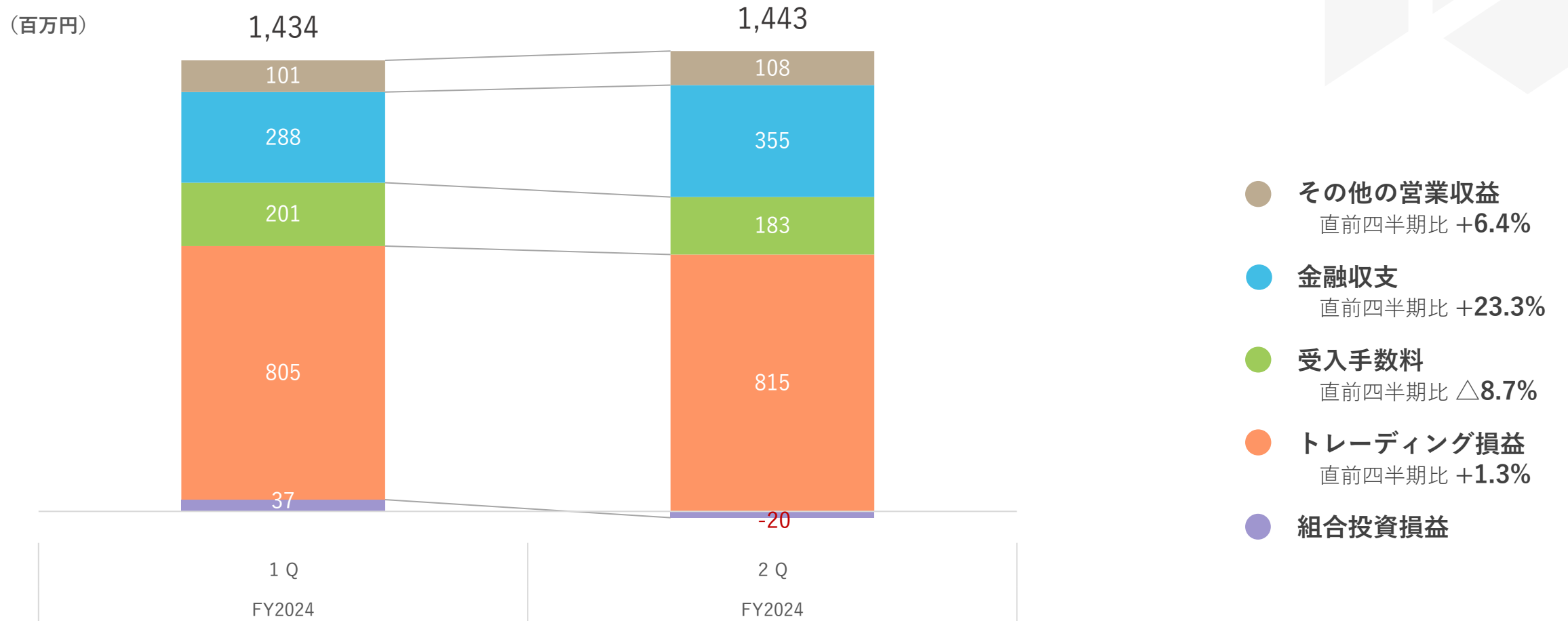


对直前四半期  
[2023.7-2023.9]

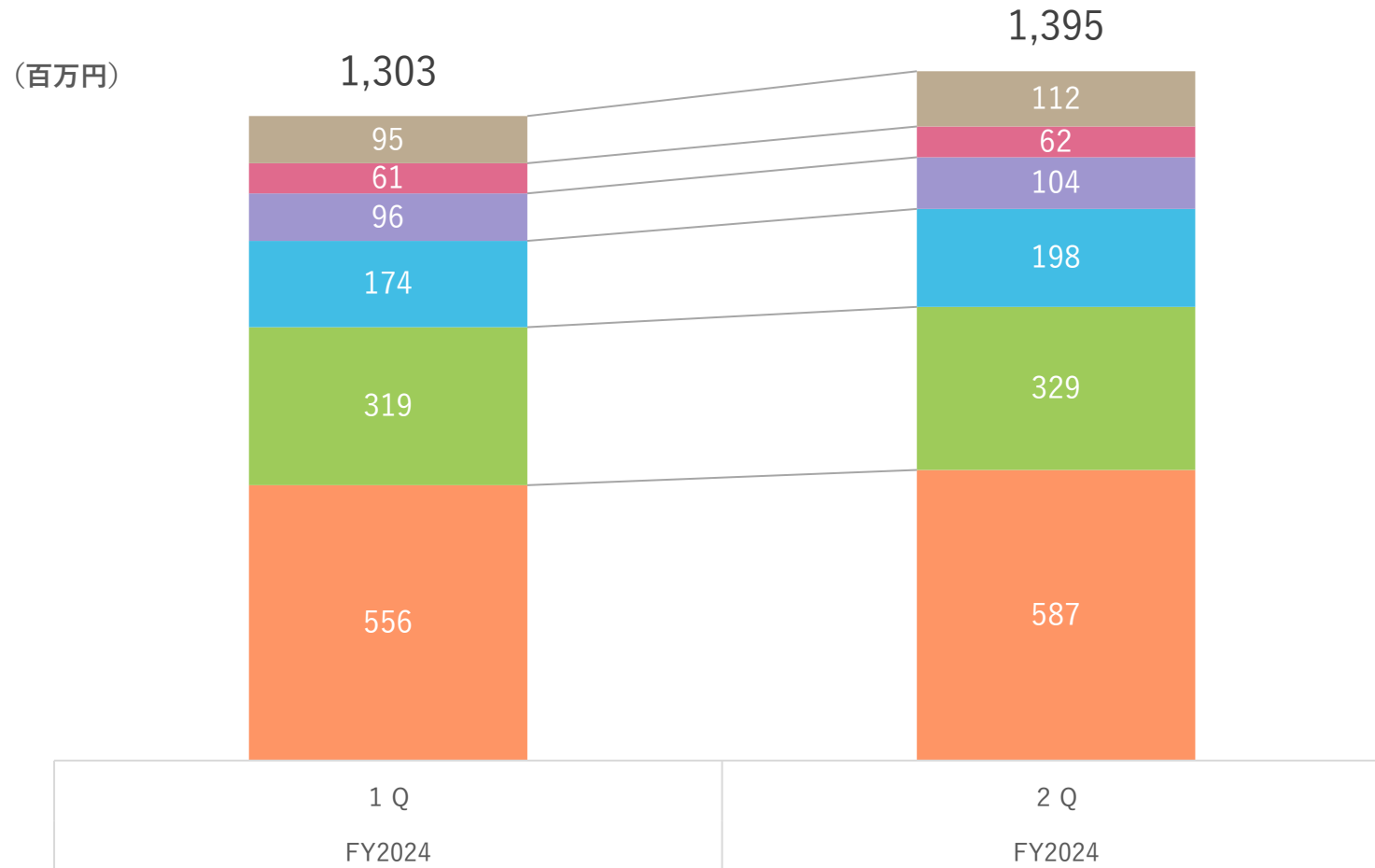
## 連結業績 | 対直前四半期 | 2023.7 – 2023.9

単位：百万円	2024年3月期 1 Q (2023.4-2023.6)	2024年3月期 2 Q (2023.7-2023.9)	対直前四半期比 増減率
営業収益	1,590	1,667	+4.8%
純営業収益	1,434	1,443	+0.6%
営業利益	131	47	△63.7%
経常利益	130	59	△54.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	81	31	△61.6%

# 純営業収益の内訳 | 対直前四半期 | 2023.7 – 2023.9



# 販売費・一般管理費の内訳 | 対直前四半期 | 2023.7 – 2023.9



- **その他**  
直前四半期比 +18.8%
- **減価償却費**  
直前四半期比 +2.7%
- **広告宣伝費**  
直前四半期比 +8.1%
- **取引関係費**  
直前四半期比 +13.7%
- **器具備品費**  
直前四半期比 +3.3%
- **人件費**  
直前四半期比 +5.5%

# 国内金融事業 ハイライト

2024年3月期  
第2四半期  
セグメント情報





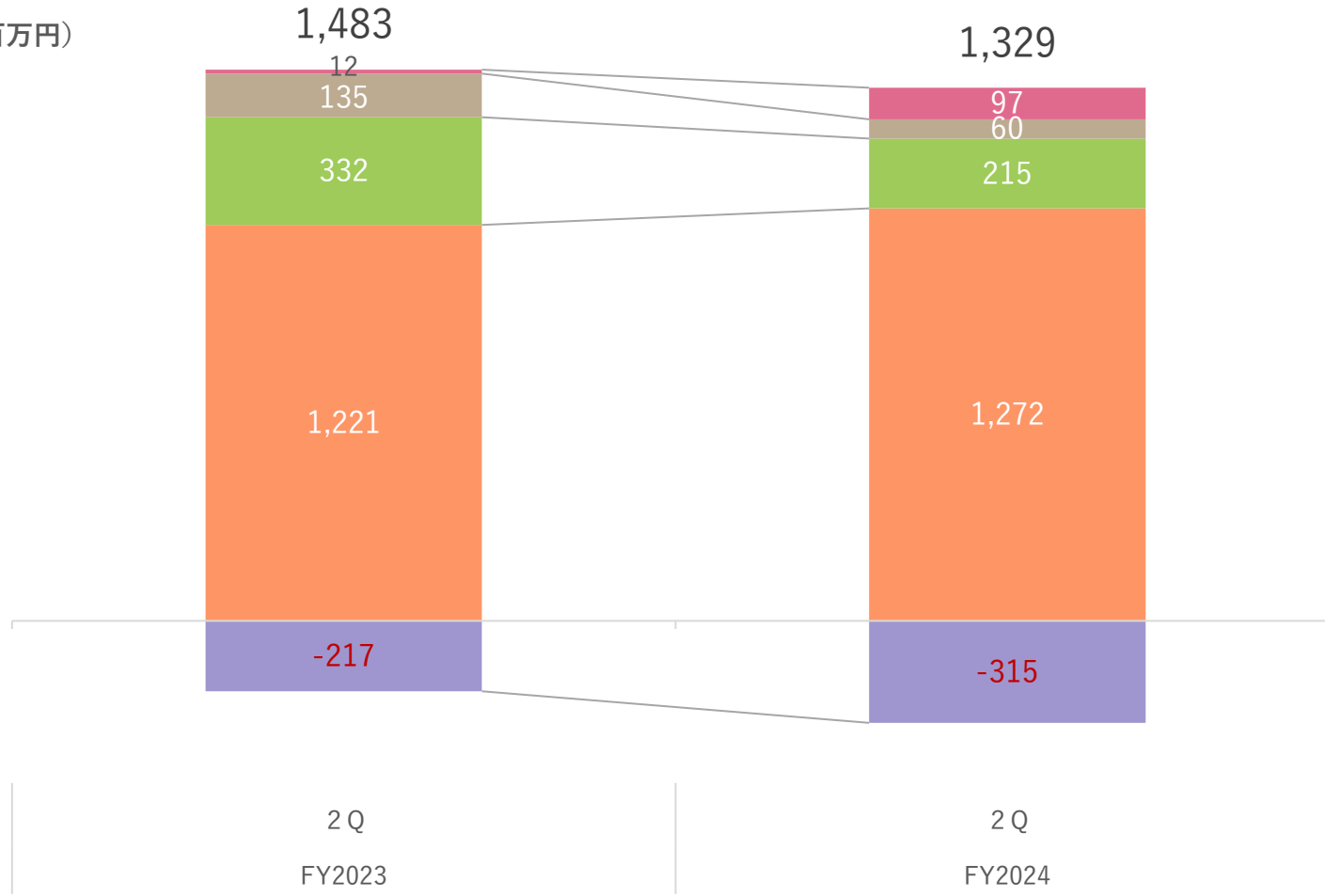
## セグメント業績サマリー | 第2四半期 | 2023.4-2023.9 (累計)

単位：百万円	2023年3月期 2Q (2022.4-2022.9)	2024年3月期 2Q (2023.4-2023.9)	対前年同期比 増減率
純営業収益 ※	1,483	1,329	△10.4%
販売費・一般管理費	1,505	1,347	△10.5%
営業損失 ※	△21	△17	-

※表示方法の変更に伴い、前第2四半期にて「営業外費用」で計上していた組合投資損失を、営業収益から差し引く費用としての「組合投資損失」に組み替えたため、前第2四半期の「純営業収益」および「営業損失」は過去の開示資料と数値が異なります。

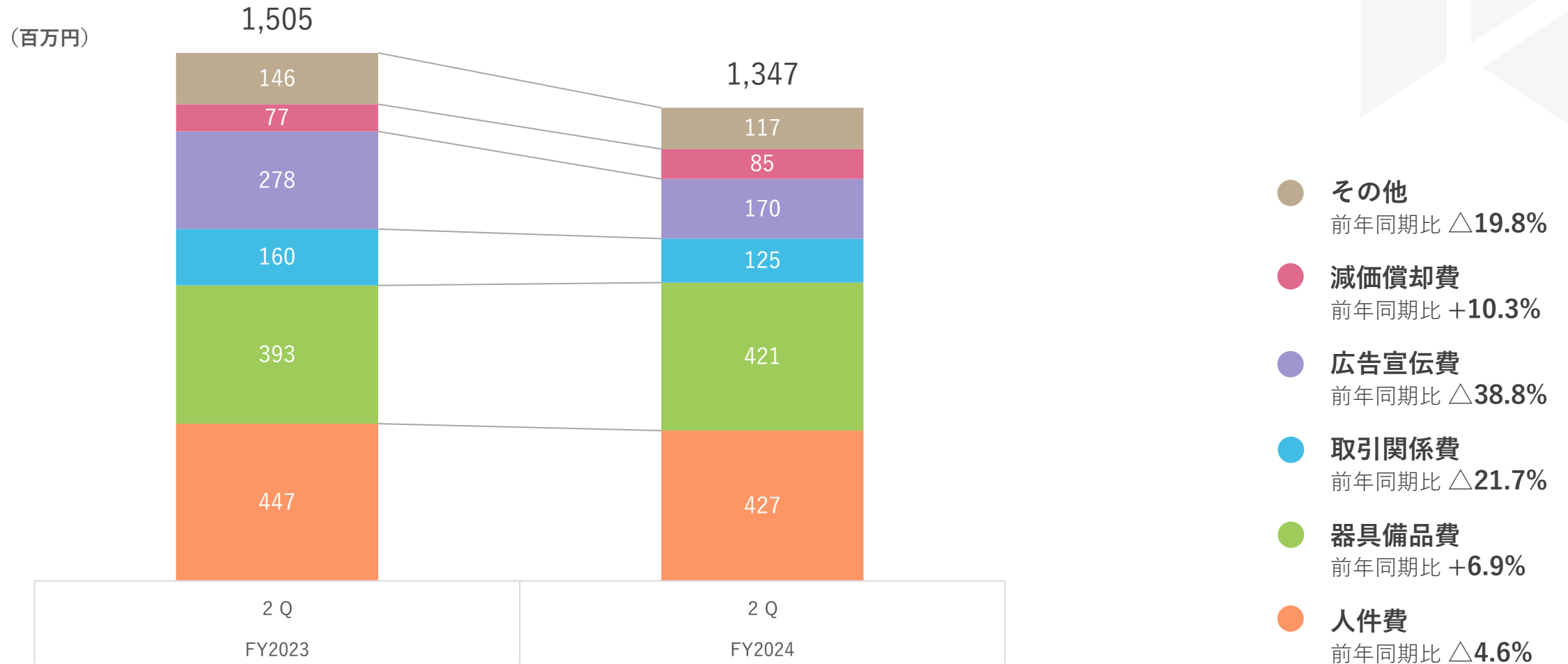
純営業収益の内訳 | 第2四半期 | 2023.4 - 2023.9 (累計)

(百万円)

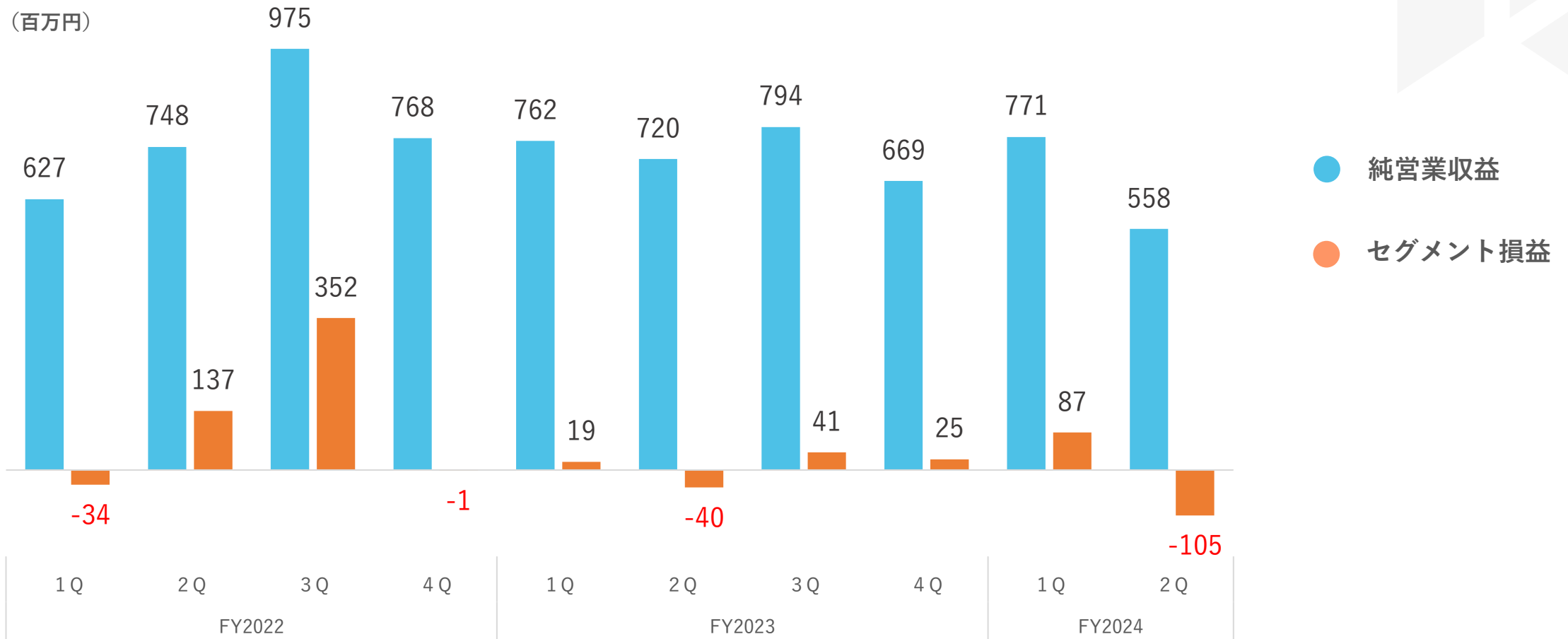


- セグメント間収益・振替
- その他営業収益  
前年同期比  $\Delta$ 55.3%
- 受入手数料  
前年同期比  $\Delta$ 35.2%
- トレーディング損益等  
前年同期比 +4.2%
- その他

販売費・一般管理費の内訳 | 第2四半期 | 2023.4 - 2023.9 (累計)



## 純営業収益・営業利益 四半期毎の推移

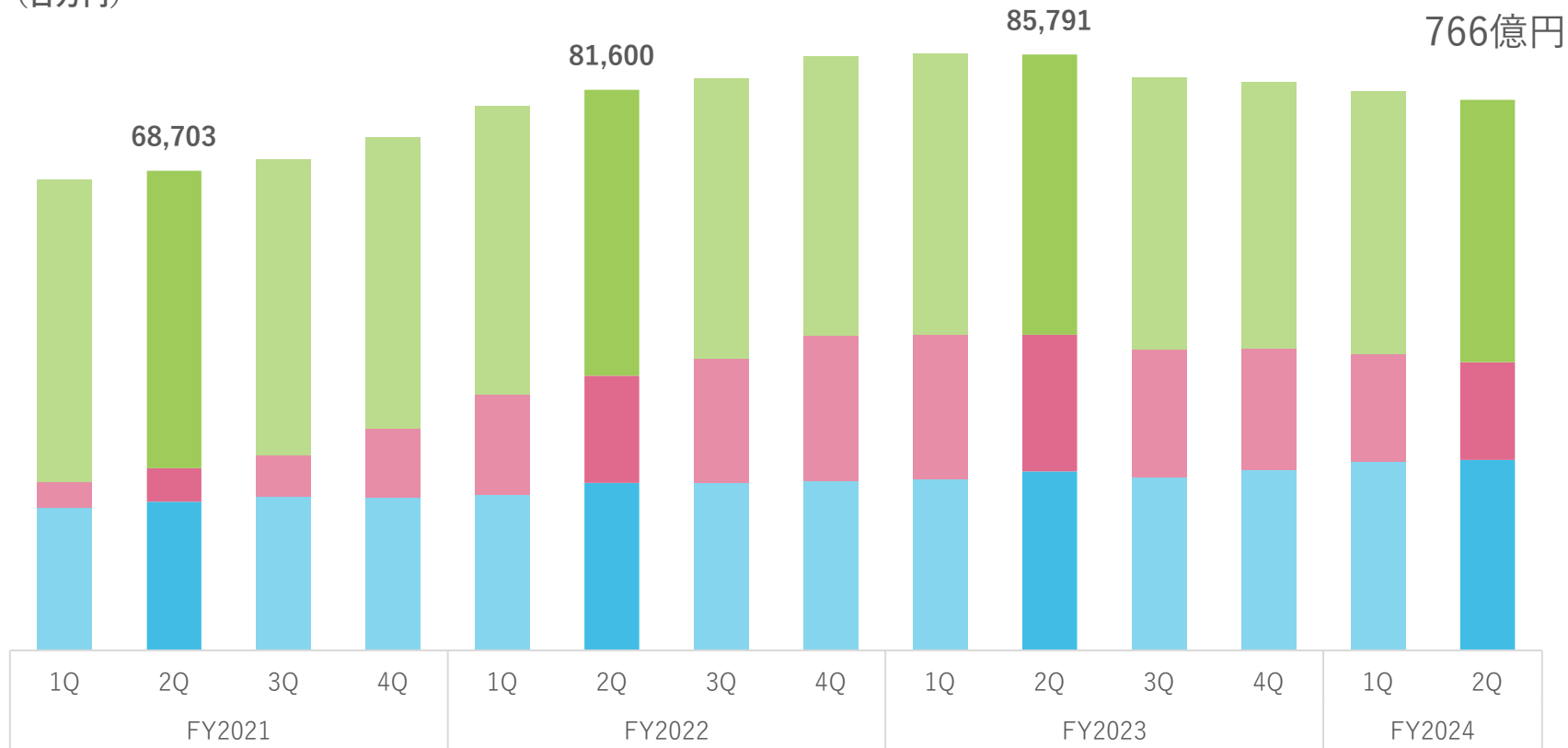


※2022年3月期(FY2022)は表示の変更に伴う「組合投資損益の組み替え」は行っておりません。

## 預り証拠金残高 四半期毎の推移と口座数

主力の店頭FXは前年同期比+6.4%と増加したが、店頭CFDが前年同期比△28.4%と減少したため、預り証拠金残高は前年同期比△91億円の766億35百万円となりました。

(百万円)



- 店頭FX  
トライオートFX・マイメイト
- 店頭CFD  
トライオートETF
- 取引所FX  
くりっく365

国内口座数

**52万1,688口座**

※2023年9月30日時点  
※サービスごと集計

# 海外金融事業 ハイライト

2024年3月期  
第2四半期  
セグメント情報



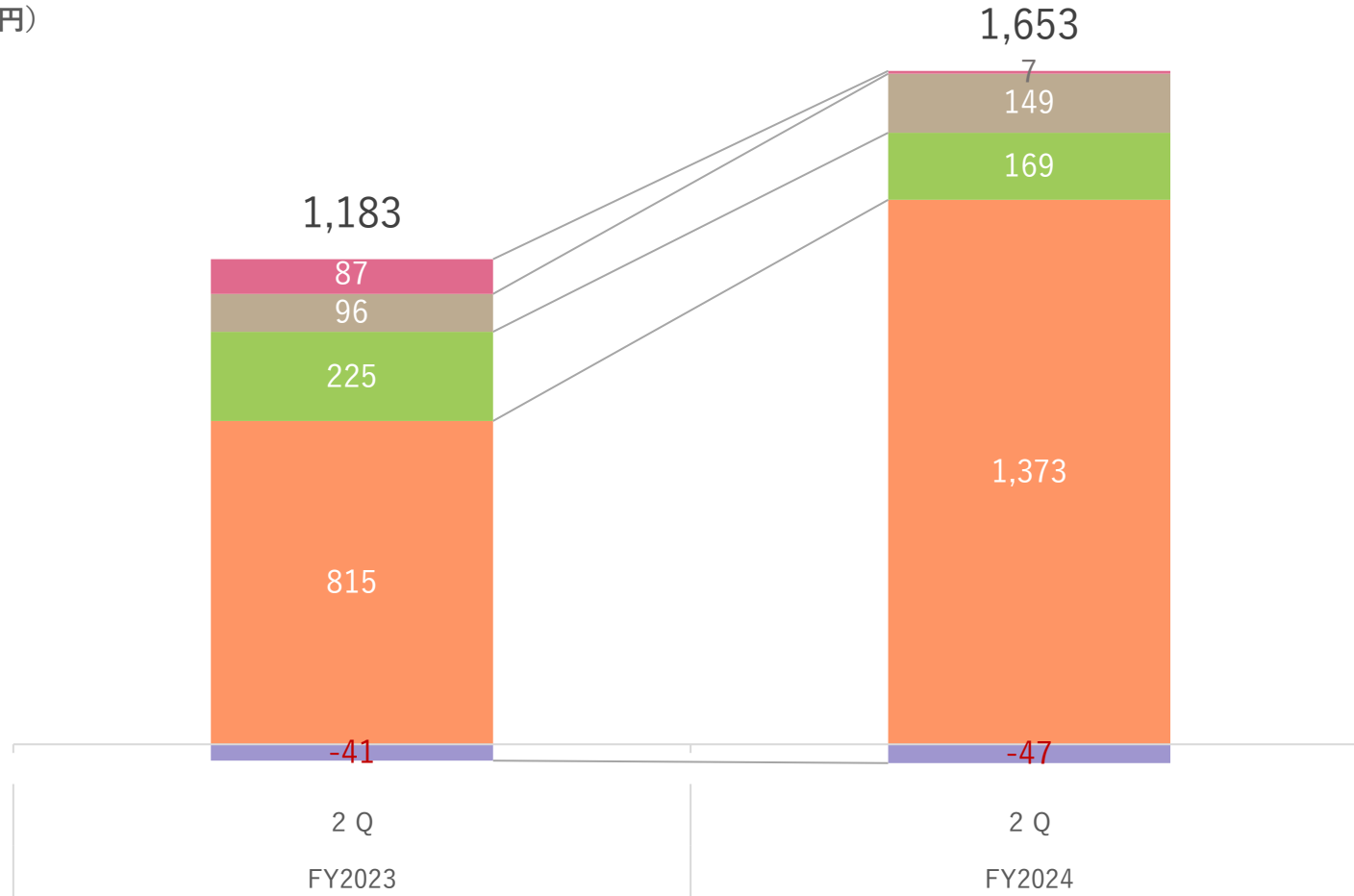
## セグメント業績サマリー | 第2四半期 | 2023.1-2023.6 (累計)

単位：百万円	2023年3月期 2Q (2022.1-6)	2024年3月期 2Q (2023.1-6)	対前年同期比 増減率
純営業収益	1,183	1,653	+39.7%
販売費・一般管理費	995	1,364	+37.1%
営業利益	187	288	+53.8%

※海外金融事業は決算日が12月末日のため、2024年3月期は2023年1月1日～2023年12月31日となります。

# 純営業収益の内訳 | 第2四半期 | 2023.1 - 2023.6 (累計)

(百万円)

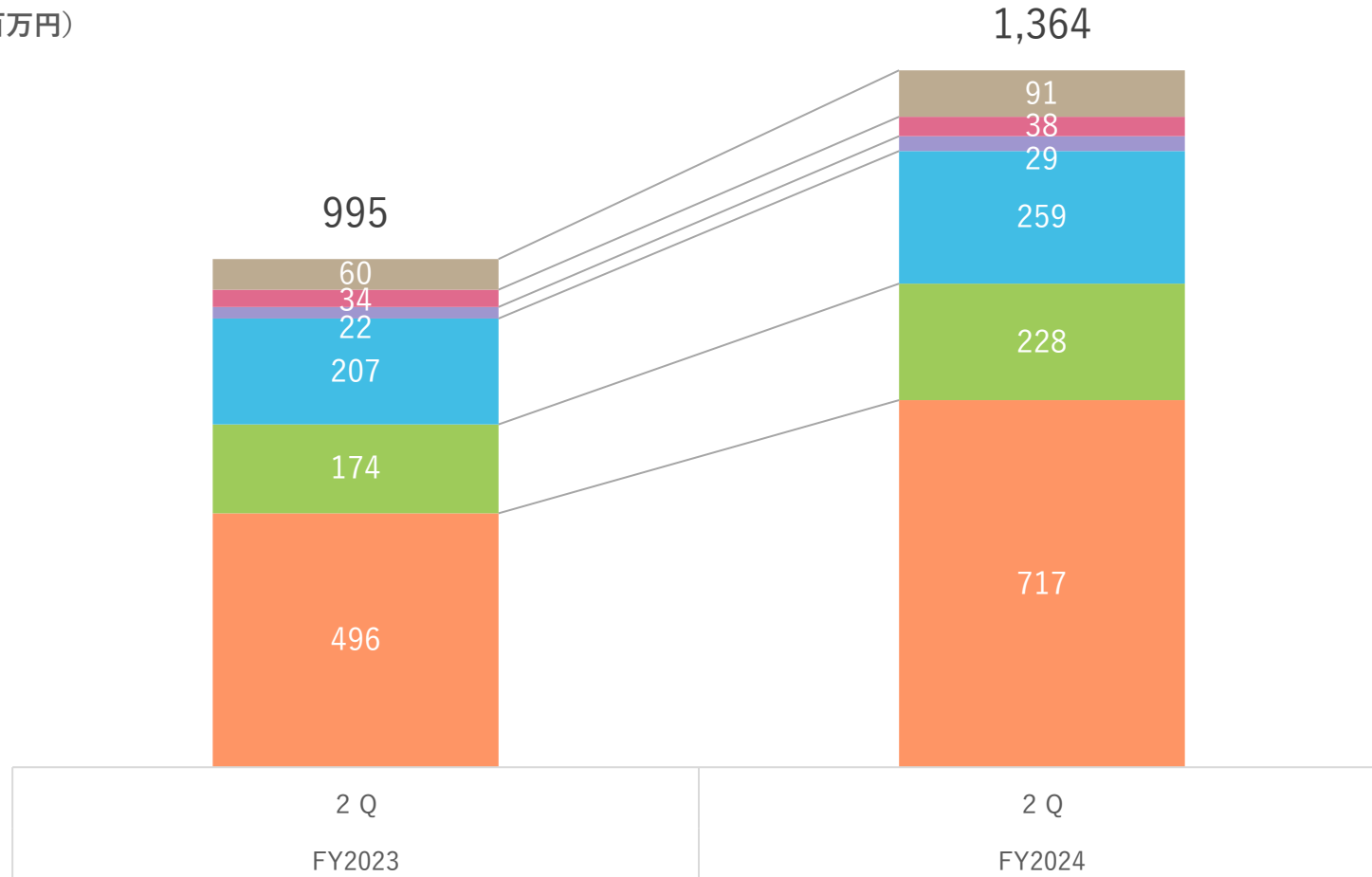


- セグメント間収益・振替
- その他営業収益  
前年同期比 +55.6%
- 受入手数料  
前年同期比 △24.8%
- トレーディング損益等  
前年同期比 +68.5%
- その他



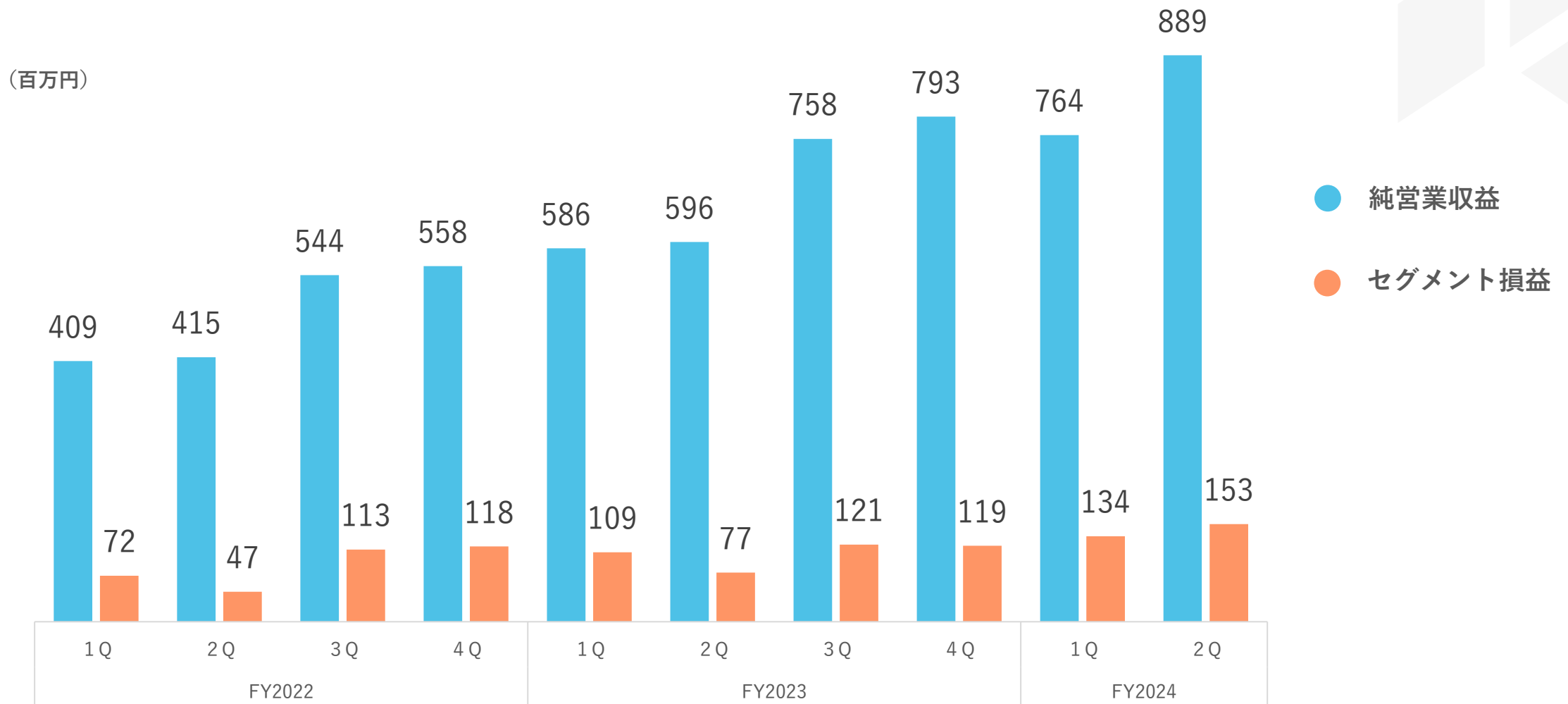
販売費・一般管理費の内訳 | 第2四半期 | 2023.1 - 2023.6 (累計)

(百万円)



- **その他**  
前年同期比 +50.4%
- **減価償却費**  
前年同期比 +13.4%
- **広告宣伝費**  
前年同期比 +33.4%
- **取引関係費**  
前年同期比 +25.1%
- **器具備品費**  
前年同期比 +30.3%
- **人件費**  
前年同期比 +44.6%

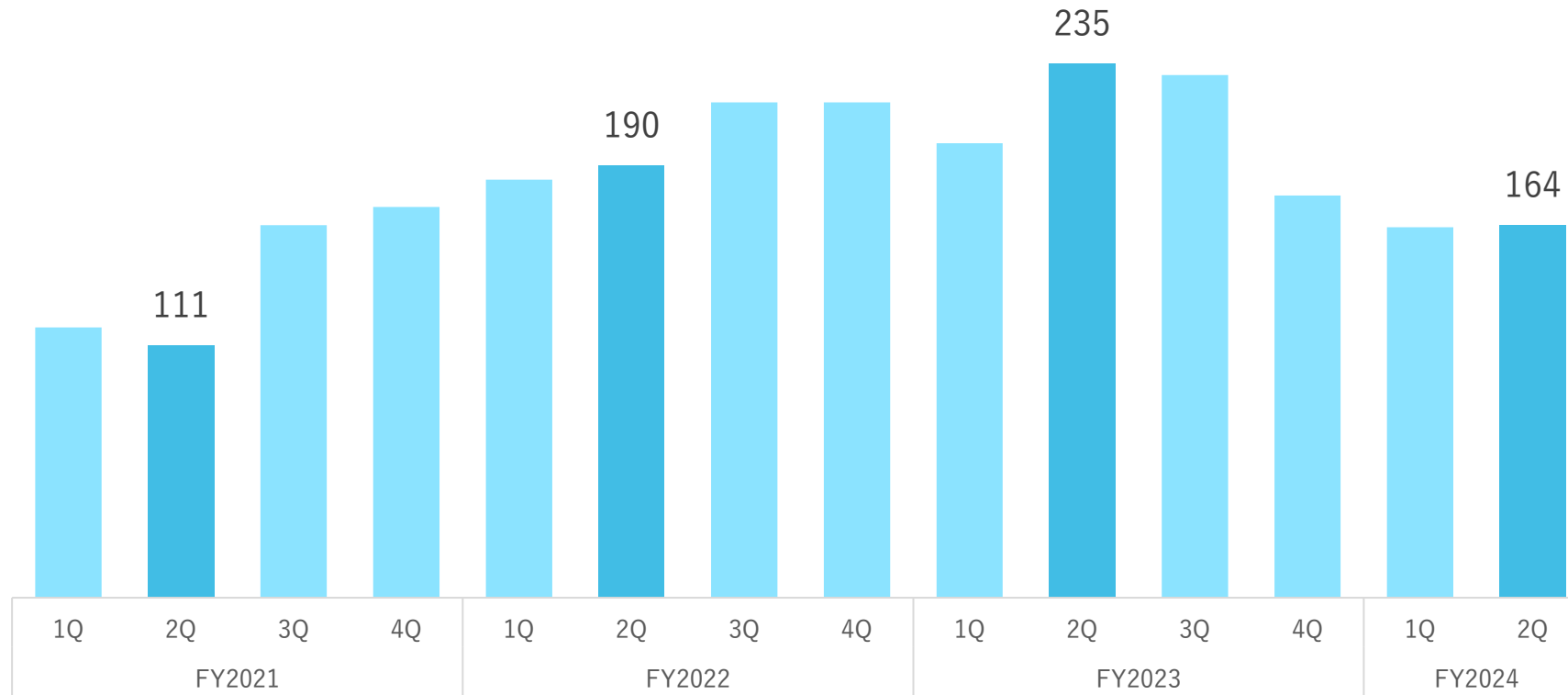
# 純営業収益・営業利益 四半期毎の推移



## 預り証拠金残高 四半期毎の推移

預り証拠金残高は前年同期比  $\Delta 30.1\%$  の 1億64百万豪ドル  
減少の主な要因はインヴァスト証券とのグループ間取引による影響によるものです。

(百万豪ドル)



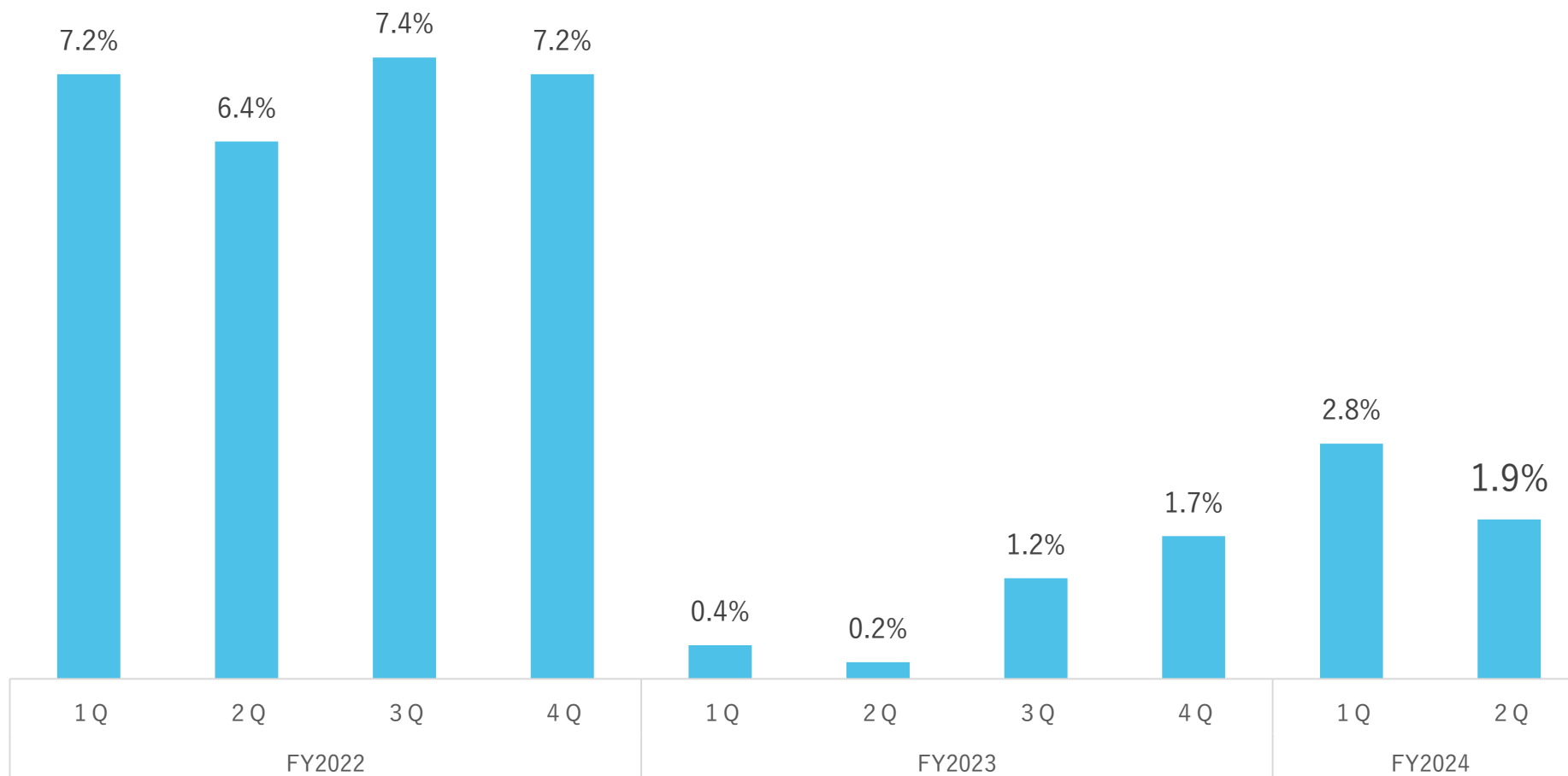
※海外金融事業は決算日が12月末日のため数値は3ヶ月前の値となり、第2四半期は2023年6月30日時点の預り証拠金残高となっています。

ROE  
株主還元



## 株主資本利益率（ROE） 四半期毎の推移

第2四半期の株主資本利益率（ROE）は1.9%



※四半期ROEは四半期純利益の平均値を年換算して算出しております。例) 第3四半期は(第3四半期純利益/3)×4

# 株主還元

## 2024年3月期は1株あたり38円を配当予定

配当利回り（予想） **4.63%**※1

※1 配当利回りは2023年9月29日の終値「820円」で算出

### 配当方針

当社は株主の皆様へ安定的な株主還元の継続を前提としつつ、業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針としています。

そのため、以下のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の余剰金の配当を行ってまいります。

- ・ 連結配当性向30%
- ・ 連結純資産配当率(DOE) 2%(年率)

注) 今期の配当は予想であり保証するものではありません。

### 配当実績と予想

決算期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	
	中間	18.0	19.0	19.0
1株当たり 配当金額(円)	期末	24.0	19.0	19.0 (予想)
	合計	42.0	38.0	38.0 (予想)
当期純利益(百万円)		808	199	
配当総額(百万円)		246	223	
配当性向		30.5%	112.2%	
ROE		7.2%	1.7%	
DOE		2.2%	1.9%	
配当利回り ※2		4.6%	5.0%	

※2: 配当利回りは各年度末日の終値で算出



Mission/Vision  
経営戦略

# Mission

存在する目的

## 世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。

金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

# Vision

目指す姿

## 2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。

私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たしビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。

その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。



# STAGE 3 [収穫期間] ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略 (STAGE 3 : 2023年 (2024年3月期) >>>2025年 (2026年3月期) )

1 1,000万人ユーザー獲得

- ▶ 新規事業開発に特化した子会社「株式会社アルカド」を通じた新プロダクト、新サービスの導入
- ▶ M&Aを通じたグローバルユーザー数の拡大
- ▶ 主力事業強化によるユーザー数の拡大

2 事業の継続的成長

- ▶ 国内金融事業：マイメイトの主力事業化、トライオートの改善や拡大の継続、取引システム全面刷新による収益性の向上
- ▶ 海外金融事業：キプロス、イギリスに続く地理的拡大の更なる推進および成長資金の調達
- ▶ リスク管理強化：世界金融市場の激変にも耐えうるリスク管理体制の整備と強化

## STAGE 3

### グローバル「1,000万人ユーザー」の達成へ向けて

私たちがグローバル1,000万人ユーザー獲得をVisionに掲げた2017年当時、世界最大のリテール外国為替証拠金取引市場規模を誇る日本国全体の総口座数は、626万口座でした。（2017年3月期、矢野経済研究所調べ）

日本で活動する全ての証券会社やFXブローカー、ネット銀行などのFX取引口座数を全て足し合わせても、626万口座しかないにも関わらず、私たちが全世界で1,000万人の利用者を獲得することをVisionに掲げた理由は、「金融サービス業界ではニッチなオンラインデリバティブ市場に留まらず、新しい市場、新しい顧客層のいる、FX以外の事業領域に挑戦する」という思いからです。

そして、FX業界から外の世界に挑戦し、人々のお金の課題を解決するような価値のあるサービスを生み出すことが出来たら、少なくとも1,000万人以上のユーザーがいてもおかしくない、いや、それくらいの規模を目指して、新規事業開発に取り組もう。そんな思いを込めて、1,000万人という目標を掲げました。

この想いを実現する為に、柔軟な新規事業開発を行える体制を構築する目的で、持ち株会社体制に移行し、IT自社開発力を身につける為に、エンジニアやデータサイエンティストなどの採用を強化し、自社プロダクトの開発にも挑戦してきました。

そして、イノベーションのジレンマに陥ることを回避する意味も込めて、これまで取り組んできた新規事業開発体制を分社化し、新規事業開発に特化した子会社、株式会社アルカドを設立致しました。

更に私たちは、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを作る、という私たちのVision達成に向けた取り組みを3つのステージに分け、それぞれのステージにおける戦略目標を明確にしてきました。そして今、Vision達成の総仕上げを行う、第3ステージが始まります。

FX市場から始まった他市場、他産業への挑戦は、この第3ステージで確固たる成果に結びつけると胸に誓いグループ全役職員一同、頑張っ参ります。

## 会社概要



会社名	インヴァスト株式会社 (英語名 INV Inc.)
住所	東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
代表者名	代表取締役社長 川路 猛
設立日	2020年10月1日
資本金	5億円
事業内容	グループ会社の経営管理および新規事業開発
主要な子会社	インヴァスト証券株式会社、26 Degrees Global Markets Pty Ltd.
証券コード	東京証券取引所 スタンダード 7338

## 免責事項

本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

---

本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。

---

本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。

---

掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。

---